

ごみ組成分析調査隊からの報告

衛生組合では、分別の状況やリサイクル等によるごみの排出抑制の大切さを多くの皆さんに体験していただくため、小平市、東大和市、武蔵村山市から実際に衛生組合に搬入されたごみの分析調査を行いました。

調査は家庭から出た不燃ごみをそれぞれの市ごとに大きなシートの上に広げ、一つひとつ分類するものです。調査結果は下記のとおりですが、不燃ごみの中にはまだまだたくさんのごみの可燃物や資源物が含まれています。

皆さんには、さらなる分別にご協力をお願いいたします。



調査実施日 平成15年3月1日（土）

参加者人数 63人

調査結果

単位：重量%

項目	小平市	東大和市	武蔵村山市
可燃	39.3	1.9	3.3
不燃	37.7	87.8	70.5
資源	23.0	10.3	26.2

※ごみの分別方法は総務局により異なります。小平市では電子袋やラップ、レジ袋などのフィルム状プラスチックを可燃（燃える）ごみとして扱っています。

参加者からは次のような意見や感想がありました。

- ※参加してよかった。これからは分別に努めます。
- ※参加して、分別の状況がよくわかりました。
- ※各市で配布している分別表は、ばらばらであるので、統一できないのか。
- ※適切な包装をしない店はどこにあるのか。

組合議員が改選されました

小平市・東大和市・武蔵村山市の各市議会で組合議員の選挙が行われ、それぞれ4名の議員が選出されました。また、組合議会5月臨時会において正・副議長の選挙と議員選出の監査委員の選任同意が行われました。

議員定数 12名（議席順）

氏名	住所	電話	組織市別
浅倉 成樹	小平市学園東町1-3-11-402	042-341-7850	小平市 議 会 選 出
佐藤 充	小平市小川町1-512-33	042-343-0831	
永田 政弘	小平市天神町2-328-12	042-344-7663	
橋本 久雄	小平市上水本町5-6-17	042-348-1127	
尾崎 保夫	東大和市高木2-135	042-565-0137	東大和市 議 会 選 出
小林 知久	東大和市新堀3-20-1 八千代フラット601	042-564-4508	
長瀬 りつ	東大和市新堀2-1453-61	042-561-9679	
○藤原 宏子	東大和市上北台2-403-1 上北台住宅18-306	042-564-4018	
川島 利男	武蔵村山市岸3-17-10	042-560-3007	武蔵村山市 議 会 選 出
○鴻田 臣代	武蔵村山市大南3-13-2	042-561-3435	
須藤 博	武蔵村山市学園4-23-33	042-564-3672	
△波多野征敏	武蔵村山市中央3-15-3	042-564-7592	

○議員、△監査委員、△監査委員

発行元
小平・村山・大和衛生組合
〒180 小平市中島町2番1号
電話/042-341-4345
平成15年7月発行

小平・村山・大和衛生組合は、小平市、東大和市、武蔵村山市3市の市民生活の中から出るごみを処理する清掃工場を管理運営する一部事務組合、特別地方公共団体です。

R100 古紙配合率100%の再生紙を使用しています。この紙は、リサイクルできます。有効に再利用してください。

副管理者が選任されました

組合議会5月臨時会において尾又正則氏（東大和市長）が衛生組合副管理者に選任されました。

情報公開実施状況の公表

衛生組合では、情報公開制度により、衛生組合が保有する文書等の情報を公開しています。平成14年度の請求件数は21件で、公開状況等は表1、表2のとおりです。

表1 公開状況

請求	21件
公開	19件
一部公開	1件
非公開	0件
不存在	1件
公開率	100%

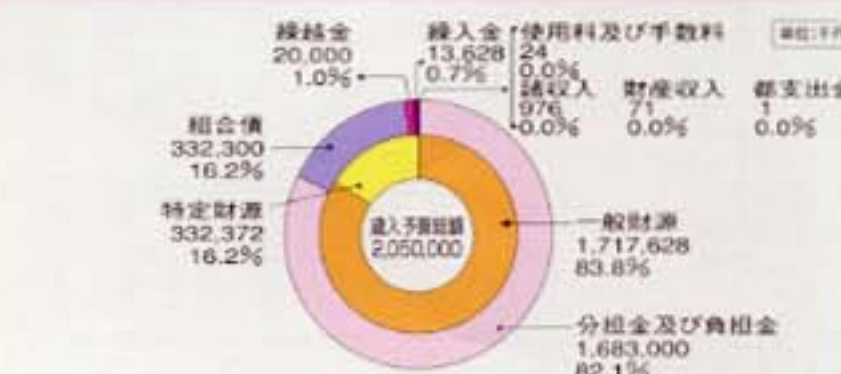
公開率=（公開+一部公開）÷（請求+不存在）

表2 不服申立て

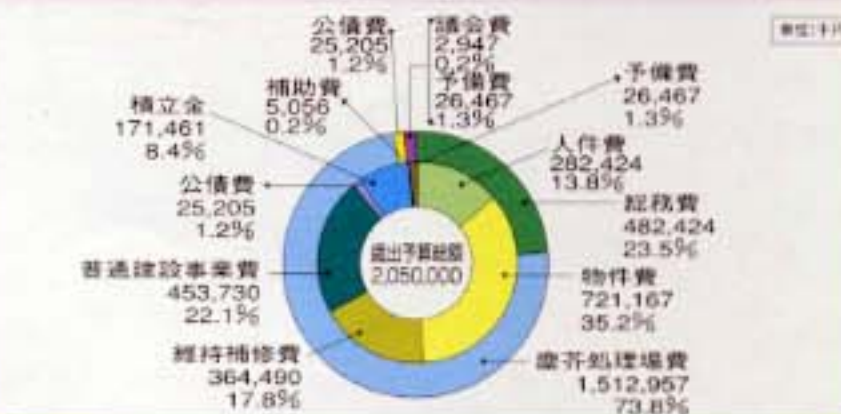
区分	請求件数
異議申立て	0件
審査請求	0件
計	0件

平成15年度一般会計予算

（歳入） 特徴 主な増減内訳
分相金内訳
組合債
国庫支出金
2億7,300万円
△3億5,330万円
△6億4,836万円
分相金内訳
小平市 866,471千円
東大和市 438,415千円
武蔵村山市 378,114千円



（歳出） 特徴 対前年比、△9億4,000万円 (31.4%)
主な増減内訳
普通建設事業費
物件費
人件費
積立金
△9億3,023万円
△1億2,192万円
△3,168万円
1億4,659万円



地球温暖化対策計画書を作成しました

衛生組合では、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例第6条第1項」の規程により地球温暖化対策計画書を作成し都に提出しました。この計画では、次のことを定めています。

- ☆温室効果ガスの排出の状況
- ☆温室効果ガスの排出の抑制に係る目標
- ☆温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

衛生組合総務課及びホームページでも公開いたします。

VOICE

編集後記

えんとつ13号をお送りします。
この季節の衛生組合は、小さな見学者が来訪し、にぎやかな日々が続いています。昨年一年間は、バクテリアと取り組む一歩のために見学者をお断りしてしまいましたが、工事の進捗が、大きなごみピットやごみクレーンを見たときの子どもたちの歓声は、素直な喜びの顔を思わすほろほろと涙が、そして、もしかしたらこの子供たちが大人になる頃には、ごみに関する知識も大きく変わっているかも知れません。
衛生組合は、今年から現在使っている清掃工場を更に長く使おうとしているので、工事等を行います。平成三十三年まで現在の施設を使い続けるためには、このように必要となるものを調べて、必要な対策を行います。内容については「えんとつ」でお知らせしていきたいと思っております。
ではまた、次号でお会いしましょう。

小平・村山・大和衛生組合

えんとつ

No.13

小平・村山・大和衛生組合は、3市のごみを処理している清掃工場です。



組合議会議員が改選されました

平成15年度一般会計予算

部分更新施設整備工事計画

平成14年度ダイオキシン類の測定結果

ごみの分別にご協力を!

部分更新施設整備工事計画について

衛生組合では、平成15年度から平成17年度の3カ年計画で部分更新施設整備工事を進めていきます。

1. 部分更新計画とは？

これまでごみ処理施設は、通常20年程度で更新（建替え）されています。

衛生組合においても、稼働中の施設が通常の更新時期を迎えることから施設更新に向けた事務、事業を進めてきましたが、近年ごみ搬入量の安定化や市民意識の高揚などごみ処理事業を取り巻く状況が変わり、これらの変化を見きわめる必要が生じてまいりました。

このため衛生組合は、平成13年度に部分更新に係る調査検討を行い、その結果、現有焼却施設は、補修や改造で今後も運転が可能であること、老朽化した建物は、補強工事を行うことで十分に利用できるとの報告を受けました。衛生組合では、これらの調査結果や周辺の清掃工場も基幹的施設改造等で施設保全を図っている状況を考慮し、施設更新を部分更新による保全対策で対応していくことといたしました。

部分更新工事計画は、この方針に基づき既存施設の改造等、工事を計画的に行うために取りまとめたものです。

2. 部分更新計画の対象施設

施設名称	処理能力	建設年月
3号ごみ焼却施設（3号炉）	150t/日×1炉	昭和50年 3月
4・5号ごみ焼却施設（4・5号炉）	105t/日×2炉	昭和61年11月
廃水処理施設	51m ³ /日	昭和50年 3月

3. 部分更新計画の目標

施設更新時期を平成33年度とし、それまでの間、既存施設を安定的に稼働させる。

4. 部分更新計画の基本方針

部分更新計画は、次の考え方を基本に進めています。

ごみ処理施設の安定稼働

性能の改善

設備機器の更新により合理化を図るなどごみ処理性能の改善を図ります。

環境負荷の低減

公害防止機能の一層の充実を図り、環境負荷の低減に努めます。

安全性の向上

ごみ搬入者や来場者の安全対策を進めます。

5. 平成15年度の工事計画

3カ年の工事計画の内、今年度実施する工事は、次のとおりです。

番号	工事項目	説明
1	3号炉プラットホーム増改築工事	①プラットホーム増築及び補修 ②プラットホーム出入口扉の更新 ③プラットホームエアカーテンの更新
2	ごみ投入扉設置等の工事	①3号炉ごみ投入扉の新設 ②3号炉ダンピングボックスの新設 ③4・5号炉ダンピングボックスの新設
3	3号炉耐震補強工事	①鉄筋コンクリート部の耐震補強 ②鉄骨部の耐震補強 ③ごみピットスロープの改造 ④外壁塗装
4	3号炉ごみクレーン改造工事	①ごみクレーンの更新 ②ごみクレーンの自動化 ③クレーン操作室の改修
5	廃水処理施設補修工事	①廃水処理槽の改修 ②汚泥処理機械室の改修

6. 平成16年度以降の予定

平成16年及び平成17年度に予定している工事は、次のとおりです。

年度	予定工事項目	説明
平成16年度	白煙防止対策工事	①空気予熱器の更新 ②ブースター送風機の設置 ③風道の設置
	煙突改修工事	①煙突ノズルの改修 ②煙突外周の補修
	4・5号炉建屋補修工事	①ひび割れ補修 ②コンクリート中性化抑制
平成17年度	計装設備更新工事	①3号炉の計装設備更新 ②3号炉の中央制御室の改修 ③4・5号炉の計装設備更新 ④4・5号炉の中央制御室の改修
	建屋改修工事	①3・4・5号炉の防水改修 ②3・4・5号炉の金属建具取替 ③3・4・5号炉の管理室側中性化抑制処理 ④3・4・5号炉の内装改修

平成14年度ダイオキシン類の測定結果

1. ごみ焼却施設から排出されるダイオキシン類調査

衛生組合では、廃棄物の処理及び清掃に関する法律とダイオキシン類対策特別措置法に基づき、毎年1回以上排ガス等に含まれるダイオキシン類の量を測定しています。

平成14年度の測定結果は、各基準値に適合する結果となりました。（表1参照）また、より環境に配慮した清掃工場とするため、平成13年度、14年度の2カ年事業として、バグフィルターの設置工事を行いました結果、排ガス中のダイオキシン類の濃度はバグフィルター設置前に比べ大幅に低減しています。（表2参照）

表1	測定項目	排出ガス	焼却灰	ばいじん（飛灰）	ガス冷却ダスト	汚泥	排出水
	（単位）	（ng-TEQ/Nm ³ ）	（ng-TEQ/g）	（ng-TEQ/g）	（ng-TEQ/g）	（ng-TEQ/g）	（pg-TEQ/l）
基準値	（平成14年12月1日以降）	1	3	3	3	3	10
3号炉	測定日：平成14年11月19日	0.040	0.020	0.057	0.026	3.2 （注6参照）	0.95
4号炉	測定日：平成14年 8月12日	0.33	0.0038	0.17	0.075		
5号炉	測定日：平成14年 5月24日	0.41	0.010	1.5	0.12		

表2	測定項目	排出ガス
	（単位）	（ng-TEQ/Nm ³ ）
3号炉	測定日：平成15年 2月27日	0.0096
	測定日：平成15年 2月28日	0.0050
4号炉	測定日：平成14年12月20日	0.032
5号炉	測定日：平成14年 9月 6日	0.22
	測定日：平成14年11月 9日	0.070
	測定日：平成14年11月10日	0.038
	測定日：平成14年11月11日	0.018

注1）測定結果は、コプラナーPCBを含んだ値です。
注2）1ng（ナノグラム）は、10億分の1グラムです。
注3）1pg（ピコグラム）は、1兆分の1グラムです。
注4）TEQは、毒性等量のことで、ダイオキシン類の量をダイオキシンの中でも最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ダイオキシンの毒性等量に換算した数値です。
注5）Nm³（ノルマル立方メートル）は摂氏0度、1気圧の状態に換算した気体の単位です。
注6）焼却灰、ばいじん（飛灰）ガス冷却ダスト及び汚泥の平成14年12月1日以降の基準は、セメント固化等処理の判断基準です。現在、衛生組合では汚泥等について、薬劑処理を施し適正に処理しています。

2. 大気中のダイオキシン類調査

衛生組合では、清掃工場周辺の大気中のダイオキシン類調査を立川市清掃工場と連携して実施しています。

調査の結果はいずれの調査地点においても環境基準に適合するものでした。（表3参照）

表3	調査地点	調査結果	平成13年度 平均値
		H14.8.1～8.8 H15.2.6～2.13 平均値	
小平・村山・大和 衛生組合	東大和市長第二小学校	0.064 0.069 0.066	0.23
	小平市立中島地域センター	0.059 0.068 0.063	0.22
	小平市立上水新町地域センター	0.055 0.070 0.062	0.21
立川市	立川市立幸小学校	0.059 0.079 0.069	0.21
	立川市立第八小学校	0.061 0.072 0.066	0.15
	立川市立若葉小学校	0.058 0.073 0.065	0.22
環境基準		0.6以下	

ごみが減量してます
今後とも協力を！

平成14年度に3市（小平市、東大和市、武蔵村山市）の家庭や事業所から衛生組合に搬入されたごみ量は、平成13年度より約700トン少ない81,963トンでした。

今後もリサイクルなどに心掛けて、ごみの減量にご協力をお願いいたします。

